

環境マネジメント

環境についての考え方

東京エレクトロングループは、Technology for Eco Lifeのスローガンのもと、最先端の技術とサービスで、環境問題の解決を目指します。あらゆる事業活動において、環境負荷低減と地球環境保全を目指し、更に生物多様性にも配慮した環境活動により、持続可能な社会の実現に貢献します。

環境方針

1. 環境目標と継続的改善

常に環境問題を幅広く調査を行い、自主目標を制定し、マネジメントレビューを含む継続的改善活動を実施し、環境関連の法令や国際的なルール等を遵守します。

2. 環境技術の推進

最先端技術とサービスの開発とその実現を通して、持続可能社会の実現に貢献します。

3. 製品での環境貢献

最先端技術を駆使し、環境配慮型製品を開発します。顧客や取引先と連携・協力し、幅広い環境問題の未然防止と改善に努めます。

4. 事業活動での環境負荷低減

事業活動における環境負荷を定量的に把握し、その低減を含む環境活動を従業員と一体となって、積極的かつ継続的にを行います。

5. 社会との連携・協力

幅広いステークホルダーとの共通理解の元、連携・協力を推進し、その期待に適切に対応していきます。

● 環境活動の推進体制

環境活動をグループ全体で推進するための環境推進体制を構築しています。本社およびグループ各社のトップマネジメントが任命したメンバーで構成される「製品環境価値会議」「製品環境コンプライアンス会議」「事業所環境価値会議」を設置し、この全体を「グローバル環境会議」が統括しています。これらの会議体で、当社グループの環境目標達成のための活動を行い、進捗を確認し、マネジメントレビューを受けながら継続的改善を進めています。

また、1997年より製造子会社を中心にISO14001に基づく環境マネジメントシステムを運用し、認証の取得を進めています。

東京エレクトロングループ ISO14001 取得事業所一覧：
<http://www.tel.co.jp/environment/enviro/index.htm>

■ 環境活動推進体制



● 環境教育

当社グループの従業員に対し、階層別の環境教育・訓練を実施しています。また、新入社員研修においても環境に関するプログラムは必須科目としています。2012年度は国内従業員向けにeラーニングシステムを用いた環境Web教育を実施しました。2013年度は、この教育内容を海外の従業員にも展開し、グループ内の環境意識向上を図っていく方針です。



環境Web教育

● 環境活動のチェック体制

各製造子会社では、環境法令や排出基準などの法規制を確認し、一部では自主基準を設けるなど、法規制遵守に努めています。2012年度に企業買収により新たに加わった海外企業の環境への取り組みの体制や活動状況も確認しました。

2012年度は、環境関連の事故・違反、またこれらにかかわる訴訟などはありませんでした。



TEL FSI, Inc. での環境体制チェック